

【導入科目】

基礎ゼミナール

【基礎ゼミナールの概要】

少人数のゼミナール方式によって、高校までとは異なる、大学における自主的な勉強方法について学びます。担当の先生の説明を一方的に聞くのではなく、受講するみなさんの積極的な授業活動や、課外学習が中心となります。授業で扱われる具体的な課題や教材は、学部・学科・課程や、担当者によって異なります。

【基礎ゼミナールの達成目標】

- 1) 自主的な学習態度を獲得すること
- 2) 課題発見能力を高めること
- 3) 資料(情報)の検索・収集・整理に関する基本的な技能を習得すること
- 4) 基本的な文章構成力・発表能力・討論能力などを獲得すること
- 5) 学生と担当教員、および学生相互におけるコミュニケーションの場を作りだすこと

【クラスの編成】

以下のそれぞれの単位ごとに、入学時の学籍番号でクラスが決まります。クラス分けは、開講時に掲示などで発表されます。

- 人文学部：課程ごとのクラス分け
- 教育学部：課程・専攻ごとのクラス分け
- 医学部医学科：学科としてのクラス分け
- 医学部保健学科：専攻ごとのクラス分け
- 理工学部：学科ごとのクラス分け
- 農学生命科学部：学科ごとのクラス分け

【成績評価で重視されることから】

平常評価：授業への出席と、授業中の活動。

中間評価：途中で何度か課される、小レポートや課題、発表など。

期末評価：授業の最後に課される、レポートや課題、発表など。

以上を合計して評価が行われます。

- 1) 基礎ゼミナールは、授業に出席することが学習の大前提です。理由のない欠席は慎みましょう。
- 2) それ以外の、各種の課題やレポートの設定、そのテーマなどは、学部・学科・課程ごとの運営方針や、担当者によって異なります。

【教科書、課外で読んでおくべき文献・資料など】

それぞれのクラスで、担当者ごとに説明があります。学部・学科・課程によっては、共通教科書を用いる場合もあります。また、教科書は用いない場合もあります。

【みなさんへのメッセージ】

基礎ゼミナールで学習する、資料・情報の検索・収集方法、レポートのまとめ方、授業での発表のしかたなどは、これからの大学での学習で欠かせない基本的な技能です。4年間あるいは6年間の学習生活を効果的に進めるために、この授業で基礎的な技能をしっかりと身につけましょう。

特に、受け身の姿勢ではなく、自ら能動的に授業に加わり、課外で学習するという、積極的な姿勢を養うことが、今後の大きな財産となります。

また、高校までとは異なり、恒常的な「クラス」が設定されない大学では、先生や学生仲間とコミュニケーションを取る場がなかなか見つかりません。基礎ゼミナールという少人数授業を通じて、担当の先生や同じゼミナールに所属した学生達と積極的にコミュニケーションを行い、大学生活に慣れていきましょう。